2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月２日

上場会社名　　株式会社ソフトクリエイトホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　　3371　　ＵＲＬ　https://www.softcreate-holdings.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役会長　　（氏名）林　　勝
問合せ先責任者　（役職名）取締役 常務執行役員　　（氏名）佐藤　淳　　ＴＥＬ　03-3486-0606

半期報告書提出予定日　2026年11月９日　　配当支払開始予定日　2026年12月４日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	18,255	10.6	3,115	13.7	3,297	8.5	2,026	8.4
2026年３月期中間期	16,508	8.8	2,739	4.7	3,039	10.3	1,869	5.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,543百万円（3.8%）　2026年３月期中間期　2,450百万円（22.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	79.87	79.58
2026年３月期中間期	75.05	74.02

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	43,581	30,704	60.7
2026年３月期	42,376	29,305	59.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　26,441百万円　2026年３月期　25,124百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	31.00	－	31.00	62.00
2027年３月期	－	31.00			
2027年３月期（予想）			－	31.00	62.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	7.6	6,300	1.5	6,550	0.1	4,200	0.6	165.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	27,550,278株	2026年３月期	27,550,278株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,286,631株	2026年３月期	2,211,388株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	25,375,336株	2026年３月期中間期	24,905,361株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.２「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（企業結合等関係） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、企業収益の改善とともに雇用・所得情勢は底堅く、個人消費も持ち直すなど緩やかな景気回復が継続しました。また、大手企業を中心とした投資意欲が旺盛であるほか、インバウンド需要回復などの前向きな動きはあるものの、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇及び日本銀行の金融緩和政策の見直しに対する警戒感、中国経済の先行き懸念や長期化するウクライナ情勢と中東情勢の不安定化に伴い、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するＩＴ業界は、企業のＥＣサイト構築需要の高まりや、ＩｏＴ、ＡＩを活用したＩＴサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、ＲＰＡ等のＤＸ推進など、企業等の事業拡大や競争力強化に向けた戦略的なＩＴ投資は活発化しております。

このような状況の中で、当社グループは国内市場シェアＮｏ．１のＥＣサイト構築プラットフォーム「ｅｃｂｅｉｎｇ」の提供やＥＣサイトの売上拡大のための施策となるクラウドサービス（ＳａａＳ型）の提供を推進してまいりました。そのほか、生成ＡＩ市場の世界的な需要急拡大を背景として当社独自で開発した企業向け生成ＡＩサービス「Ｓａｆｅ　ＡＩ　Ｇａｔｅｗａｙ」の提供や、企業のデジタル変革推進への取り組みに関連した企業内情報システムサービス「ＳＣクラウド」、「Ｘ－ｐｏｉｎｔクラウド」の提供を推進するなど、ＥＣソリューション事業及びＩＴソリューション事業の売上拡大に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は182億55百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は31億15百万円（同13.7%増）、経常利益は32億97百万円（同8.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は20億26百万円（同8.4%増）となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントの業績の概要は、次のとおりであります。

（ＥＣソリューション事業）

国内市場シェアＮｏ．１のＥＣサイト構築パッケージ「ｅｃｂｅｉｎｇ」の販売及びＥＣクラウドサービス「メルカート」の提供や、ＥＣサイトの売上拡大施策となるビジュアルマーケティング「ｖｉｓｕｍｏ」、レビュー最適化ツール「ＲｅｖｉＣｏ」、オムニチャネル分析ツール「Ｓｅｃｈｓｔａｎｔ」等のクラウドサービス（ＳａａＳ型）を提供し、トータル的なＥＣソリューションを提供しております。

ＥＣソリューション事業は、ＥＣサイト構築売上高が伸長したことや、ＥＣサイトの売上拡大施策となるクラウドサービス売上高が伸長したこと等により、売上高は97億62百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は22億61百万円（同0.7%減）となりました。

（ＩＴソリューション事業）

当社グループの独自サービスである「ＳＣクラウド」、ワークフローサービス「Ｘ－ｐｏｉｎｔクラウド」等のクラウドサービス（ＳａａＳ型）の提供をしております。そのほか、セキュリティ・インフラ構築や当社グループが独自で開発したプロダクト製品「ＡｇｉｌｅＷｏｒｋｓ」、「Ｌ２Ｂｌｏｃｋｅｒ」を販売しております。

ＩＴソリューション事業は、クラウドサービス売上高が伸長したことや、セキュリティ・インフラ構築売上高の伸長により、売上高は84億93百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は16億７百万円（同18.9%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産の変動について）

当中間連結会計期間末の資産合計は435億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億５百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が８億78百万円、投資有価証券が３億55百万円増加したこと等によるものであります。

（負債の変動について）

当中間連結会計期間末の負債合計は128億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億93百万円の減少となりました。これは、主に契約負債が３億46百万円増加したものの、買掛金が６億37百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産の変動について）

当中間連結会計期間末の純資産合計は307億４百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億99百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が12億41百万円、その他有価証券評価差額金が３億13百万円増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績は、計画どおりに推移しており、2026年５月11日に発表した業績予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,224,404	14,102,612
受取手形、売掛金及び契約資産	7,964,099	7,134,884
電子記録債権	72,431	8,981
有価証券	1,991,026	3,984,196
商品	589,414	646,712
その他	3,063,962	2,103,983
貸倒引当金	△3,697	△1,815
流動資産合計	26,901,641	27,979,555
固定資産		
有形固定資産	317,885	321,608
無形固定資産		
のれん	1,473,531	1,320,452
その他	3,594,564	3,692,205
無形固定資産合計	5,068,095	5,012,657
投資その他の資産		
投資有価証券	8,530,632	8,886,379
繰延税金資産	189,180	201,029
その他	1,376,593	1,188,445
貸倒引当金	△7,774	△7,774
投資その他の資産合計	10,088,631	10,268,080
固定資産合計	15,474,612	15,602,346
資産合計	42,376,253	43,581,902
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,169,264	2,531,986
契約負債	2,184,734	2,531,316
１年内返済予定の長期借入金	65,442	－
未払法人税等	1,247,252	1,385,155
賞与引当金	955,248	1,047,313
工事損失引当金	－	7,160
その他	2,427,321	2,262,074
流動負債合計	10,049,263	9,765,006
固定負債		
長期借入金	143,379	－
役員退職慰労引当金	953,092	1,006,652
退職給付に係る負債	1,075,375	1,139,152
繰延税金負債	849,492	966,115
固定負債合計	3,021,339	3,111,920
負債合計	13,070,603	12,876,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	854,101	854,101
資本剰余金	2,396,515	2,438,479
利益剰余金	21,505,834	22,747,156
自己株式	△2,784,066	△3,043,926
株主資本合計	21,972,385	22,995,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,088,476	3,402,080
退職給付に係る調整累計額	63,488	43,779
その他の包括利益累計額合計	3,151,965	3,445,859
新株予約権	495,907	440,058
非支配株主持分	3,685,391	3,823,245
純資産合計	29,305,650	30,704,975
負債純資産合計	42,376,253	43,581,902

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	16,508,081	18,255,223
売上原価	9,810,657	10,737,229
売上総利益	6,697,423	7,517,993
販売費及び一般管理費	3,957,841	4,402,168
営業利益	2,739,582	3,115,825
営業外収益		
受取利息	7,325	24,596
受取配当金	47,791	54,791
為替差益	271	118
持分法による投資利益	189,392	20,200
協賛金収入	46,942	72,181
その他	8,034	16,269
営業外収益合計	299,759	188,156
営業外費用		
支払利息	－	534
自己株式取得費用	－	1,682
和解金	－	2,400
その他	153	1,824
営業外費用合計	153	6,440
経常利益	3,039,187	3,297,541
特別利益		
投資有価証券売却益	－	203,672
新株予約権戻入益	6,624	8,143
特別利益合計	6,624	211,815
特別損失		
固定資産除却損	3,642	2,149
特別損失合計	3,642	2,149
税金等調整前中間純利益	3,042,169	3,507,207
法人税、住民税及び事業税	949,850	1,286,963
法人税等調整額	19,158	△30,229
法人税等合計	969,009	1,256,734
中間純利益	2,073,159	2,250,473
非支配株主に帰属する中間純利益	204,007	223,645
親会社株主に帰属する中間純利益	1,869,152	2,026,827

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,073,159	2,250,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	391,079	313,847
退職給付に係る調整額	△13,520	△20,542
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△244
その他の包括利益合計	377,558	293,061
中間包括利益	2,450,718	2,543,534
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,247,698	2,320,722
非支配株主に係る中間包括利益	203,019	222,812

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,042,169	3,507,207
減価償却費	673,796	811,375
のれん償却額	14,315	153,079
株式報酬費用	116,503	86,001
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5,873	△1,882
賞与引当金の増減額（△は減少）	42,870	92,065
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	14,052	33,780
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	37,647	53,559
受取利息及び受取配当金	△55,117	△79,387
支払利息	－	534
自己株式取得費用	－	1,682
固定資産除却損	3,642	2,149
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△203,672
為替差損益（△は益）	△271	△118
持分法による投資損益（△は益）	△189,392	△20,200
新株予約権戻入益	△6,624	△8,143
保険解約返戻金	－	△383
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	297,947	892,665
棚卸資産の増減額（△は増加）	△209,374	△70,643
前払費用の増減額（△は増加）	59,412	141,721
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,096	△637,277
契約負債の増減額（△は減少）	188,123	346,581
未払金の増減額（△は減少）	△253,877	△86,585
その他	128,076	△85,242
小計	3,908,677	4,928,867
利息及び配当金の受取額	55,388	67,111
利息の支払額	－	△534
法人税等の支払額	△1,112,220	△1,161,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,851,846	3,833,656

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△2,500,000
有価証券の取得による支出	△2,500,000	△2,980,915
有形固定資産の取得による支出	△32,503	△66,597
無形固定資産の取得による支出	△890,960	△865,305
有形固定資産の売却による収入	－	453
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,500,000	2,324,019
関係会社株式の取得による支出	△51,000	－
ゴルフ会員権の取得による支出	－	△8,341
貸付けによる支出	△11,543	△13,469
貸付金の回収による収入	9,343	12,669
敷金及び保証金の差入による支出	△129	－
敷金及び保証金の回収による収入	54,712	8,586
保険積立金の積立による支出	△820	△108
保険積立金の解約による収入	－	2,428
投資活動によるキャッシュ・フロー	△922,901	△4,086,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	－	△208,821
ストックオプションの行使による収入	92,410	227,528
自己株式の取得による支出	△169	△501,025
子会社の自己株式の取得による支出	－	△17,231
配当金の支払額	△683,124	△783,682
非支配株主への配当金の支払額	△65,705	△66,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△656,588	△1,349,781
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,272,356	△1,602,707
現金及び現金同等物の期首残高	14,958,475	14,233,994
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,230,832	12,631,287

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ＥＣソリューション事業	ＩＴソリューション事業			
売上高					
一時点で移転される財	461,579	2,147,798	2,609,378	－	2,609,378
一定の期間にわたり移転される財	8,309,329	5,396,893	13,706,222	－	13,706,222
顧客との契約から生じる収益	8,770,909	7,544,691	16,315,601	－	16,315,601
その他の収益（注）３	－	192,480	192,480	－	192,480
外部顧客への売上高	8,770,909	7,737,172	16,508,081	－	16,508,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,707	96,538	102,245	△102,245	－
計	8,776,616	7,833,710	16,610,327	△102,245	16,508,081
セグメント利益	2,277,290	1,352,220	3,629,510	△590,322	3,039,187

（注）１　セグメント利益の調整額△590,322千円は、セグメント間取引△75,978千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△514,344千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

３　その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ＥＣソリューション事業	ＩＴソリューション事業			
売上高					
一時点で移転される財	742,557	1,960,293	2,702,851	－	2,702,851
一定の期間にわたり移転される財	9,019,642	6,262,174	15,281,816	－	15,281,816
顧客との契約から生じる収益	9,762,200	8,222,467	17,984,667	－	17,984,667
その他の収益（注）３	－	270,555	270,555	－	270,555
外部顧客への売上高	9,762,200	8,493,023	18,255,223	－	18,255,223
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,445	100,997	110,442	△110,442	－
計	9,771,645	8,594,020	18,365,665	△110,442	18,255,223
セグメント利益	2,261,853	1,607,860	3,869,714	△572,172	3,297,541

（注）１　セグメント利益の調整額△572,172千円は、セグメント間取引△92,434千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△479,738千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

３　その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「ECソリューション事業」セグメントにおいて、2026年３月31日に実施したメグリ㈱との企業結合について、前連結会計年度に暫定的な処理を行っておりましたが、当中間連結会計期間に確定しております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,805,475千円は、会計処理の確定により417,833千円減少し、1,387,641千円となりました。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

（企業結合に係る暫定的な会計処理の確定）

2026年３月31日に実施したメグリ㈱との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当中間連結会計期間において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。その結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,805,475千円は、会計処理の確定により417,833千円減少し、1,387,641千円となりました。のれんの金額の減少は、無形固定資産（顧客関連資産）が740,000千円、繰延税金負債が217,708千円及び非支配株主持分が104,458千円増加したことによります。